

都協会・都連盟と共に

私は昭和36年にダンスを始め、昭和39年に東京証券協会の社交舞踏研究部に入部しました。当時の世相を反映して、部名は文字どおり堅苦しいものでした。私たちの先輩は、ダンスのすばらしさを当時の証券界上層部に働きかけ、部の創設、練習場の確保、予算獲得を実現しました。このように多くの企業、業界に勤務するいわゆる社会人の間でも、ダンスの未来について大いなる夢を抱いておりました。

東京都アマチュアダンス協会は、昭和52年に発足しましたが、当初は単なるサークルの集合体でした。都協会設立後に、江戸川区、品川区、中野区、町田市等が順次組織化されていきました。

都協会の主たる事業は、競技会として東京都ソーシャルカップ大会を開催、また社会貢献としてチャリティーパーティーを開催して東京都社会福祉協議会に収益金を寄贈しました(昭和58年から7年間継続し、寄贈総額222万円)。また、協力事業としてJADA(日本アマチュアダンス協会)主催の三笠宮杯(昭和56年-)に実行委員を派遣、入場券の販売にも力を注ぎました。当時、競技会はボランティア意識のもと、弁当は出たものの、交通費は自前でした。競技会運営のノウハウは、当初学連の経験者等から学び、やがては区市の競技会開催へと波及していきました。

昭和61年、都協会に大きな動きがありました。多摩支部の誕生であります。山口繁雄都会長からの助言により、立川市ダンス連盟会長の倉持嘉治氏を中心となって多摩地区市町村の有力者に呼びかけを行い、区に匹敵するほどの組織が出来上り、会員は倍増しました。

名誉会長 内山雅允



都協会は昭和62年、東京都体育協会に加盟申請を行いました。区市の体協加盟があまり進んでいない等の理由で、結局平成6年になってやっと加盟が実現しました。望月文夫氏との2人3脚で東京都体育協会に何度も足を運んだことが、懐かしい思い出となっております。

時は移り、今では、PD会員を迎えての連携、他ジャンルのダンスとの協調、そしてブレイクダンスが、ダンススポーツとして初めてユースオリンピックの正式種目に採用される等、ダンススポーツを取り巻く背景、環境はすっかり変わりました。

東京都ダンススポーツ連盟には、引き続きJDSFの中核としてダンススポーツの発展にご尽力いただきたいと願っております。



東京証券協会文化祭パーティー デモンストレーション(昭和40年11月4日 産経ホール)

*東京都アマチュアダンス協会会長の時に東京都体育協会加盟を果し、その間にJADA副会長・事務局長を務められました。故山口繁雄会長から都連盟会長を5年間引き継いだ後、JDSF事務局長・経理部長として9年間重責を担われて今般勇退なさいました。永年に亘る著しい功績を讃えて、平成29年6月25日(日)京王プラザホテルにおいて盛大に開催されたJDSF創立40周年記念式典・祝賀会において、特別功労表彰を受けられました。

平成29年度 都民生涯スポーツ大会

9月24日(日) 駒沢体育館

「ダンススポーツ」

今般、9月24日(日曜日)生涯スポーツ大会・ダンススポーツ部門にご参加戴きました、三十三の市区からの多くの都民の皆様へ厚く御礼申し上げます。お陰様を持ちまして大盛会の内に閉会宣言が出来ました。これもひとえにご参加戴きました選手・監督・応援観戦・役員の皆様のご協力の賜物です。

団体戦総合優勝(金メダル)の世田谷区2連覇、誠におめでとうございます。準優勝の大田区(銀メダル)大変におめでとうございます。第三位(銅メダル)の江戸川区 大いにおめでとうございます。オリンピック、世界選手権の陸上競技400mリレーでも、ジャマイカやアメリカのように個人が速い選手が揃ってもバトン受渡失敗、コース逸脱で勝てないこともありますように、団結力が勝敗を分けます。来年は他の市区の皆様も大いに上位を目指してください。



実行委員長 一ノ瀬 初男



(実行委員長 一ノ瀬初男、副実行委員長 今泉清隆、競技長 山下りえ子、スクリーン 蔵方政治、集計システム 佐倉文彦、リアルタイム運用者 水野美貴子)

平成29年度 都民生涯スポーツ大会

ダンススポーツ

第1部 団体戦

33の区市代表選手・監督(35歳以上の都民、在住・在勤・在サークル)が一堂に会して、激戦と応援合戦が繰り広げられました。今年の出場クラスは、C級相当スタンダード・ラテン、D級相当スタンダード、1級相当ラテン、シルバーⅠ(50歳以上)スタンダード、シルバーⅡ(60歳以上)ラテン、シルバーⅢ(2人合わせて130歳以上)スタンダードの7区分、各2種目戦です。



優勝

昨年に続き「優勝」、そして私が監督を務めさせて頂いた10年間で初めての連覇！ 感激です。今年も恒例の「選手合同練習会」を2回実施。最終回には各選手の動画撮影をして、仕上がりを確認して頂きました。他区の監督さんから「世田谷はどうしてそんなに強いのか」と、良く聞かれます。各サークルの練習会の他に、週1回の「シェア練習会」(会場費を、参加者で割勘→300円/人)といった練習の機会が多いことが効いているのかも知れません。既に、3連覇を目指して来年の人選が始まっています。

世田谷区ダンススポーツ連盟監督・事務局 亀甲 昌之



準優勝

第2部 フォーメーション

お揃いの衣装やメドレーと意匠を凝らした演技発表が行われました。団体優秀賞が両チームに、観覧頂いた審判員を代表して山口紀美代・秋山伸子ジャッジからそれぞれ手渡されました。



北区 しゃっふるず



今回の課題は、ビートや小節を数えること。さて、うまくいくでしょうか。応援よろしく願いいたします。(監督 小杉 健夫)



3位

杉並区 ファーストステップ



今回で4回目の出場になります。サークル全員参加“一致団結”“笑顔”で楽しみたいと思います。(監督 大井 秀一)

優秀賞	優良賞
優勝 世田谷区	葛飾区
準優勝 大田区	羽村市
第3位 江戸川区	北区
第4位 調布市	足立区
第5位 江東区	昭島市
第6位 あきる野市	中央区
第7位 新宿区	府中市
第8位 狛江市	東久留米市

おしらせ 競技資格の講習会・研修会

平成28年度より、旧競技長・採点管理長資格は「チェアパーソン(競技長)」に、旧競技会支援システム運用者資格は「スクルティニア(採点管理者)」に移行して、資格更新期間は1年になっています。

平成29年8月20日(日) 公認スクルティニア講習会(参加41名、新規受験6名)、平成29年8月27日(日) 公認チェアパーソン講習会(参加44名、新規受験4名)が実施されました。

向後の開催予定は次の通りです。

平成29年10月22日(日) 10:00～17:00 公認スクルティニア(採点管理者)研修会 都連事務所

平成29年12月10日(日) 10:00～17:00 公認チェアパーソン(競技長)研修会 新宿スポーツセンター2階 大会議室

第3部 コンペ・表彰式

当日組合せによる、ワルツ、タンゴ、チャチャチャ、ルンバの単科戦。表彰式(総合)では、団体戦出場組のうち最高齢カップルとして 武井昭二郎・京子組(中野区/D級相当スタンダード)が生涯スポーツの範としてサプライズ表彰されました。



ねんりんピック秋田2017

ダンススポーツ交流大会

9月9日(土)～10日(日) 秋田県立体育館

東京都Aチーム・Bチームが秋田県で開催されたねんりんピックに参加されました。募集69組(都道府県・政令指定都市)、出場46組中、東京都Aチームは見事優勝を果たしました。



優勝
東京都Aチーム

初めてねんりんピックに参加して

到着の秋田駅では歓迎の人の列と声、小学生手作りの応援幕も飾られています。開会式演出の圧巻は竿燈まつり。30本の竿燈は力強く艶っぽく揺る。競技会は団体戦が華。結果の発表ごとに一喜一憂し、会場が湧く。個人戦にはない盛り上がりだ。下位から順に発表。「第二位 京都市」の声に、優勝が決まった東京都チームは抱き合って喜んだ。初参加で金メダル。美味しい食事、県民の優しさとおもてなし。ねんりんピックならではの経験をさせていただいた。

(西尾治一・聖子)





シニアスポーツ振興事業での活動

東京都体育協会のシニアスポーツ振興事業に平成26年度から参加して、4年目となった。

年度末に、区体協より加盟団体に公募があり、応募団体が集合し、個々に実施計画の

説明、ヒヤリングの後、決定通知の連絡があり実施される。他団体の考え方、実施の内容には、勉強となる場でもある。

都では、ジュニア育成事業も実施しており、練馬区では、ジュニア育成事業に12団体、シニアスポーツ振興事業に6団体と体育協会の主催する事業を、29年度として実施することとなった。

ダンススポーツ連盟は「シニアダンススポーツ教室」の名称で、連盟が運営するサークルとして、毎週木曜日の午前の時間に、参加料と都からの分担金で活動している。

シニア事業は、60歳以上を対象としているため、参加者氏名に年齢を付した、月日毎の参加一覧表を作成している。また、収支は利益とならないよう、特に厳格性が求められ、全収入額分の領収書が必要となる。今後も継続していくためには、成果結果をアピールする報告をしなければ、と考えている。

ダンスの振興と普及(JDSFの会員確保)を目的としてい

るため、「ダンスを始めたい、初心からダンスをしたい方歓迎」で募集している。入会にはJDSFの会員となることを条件とし、現在12名で活動している。「ダンスは敷居が高いが、3年付き合っして下さい」と声をかけているが、定着率は6割程度で、特に男性の継続が厳しい。シニア事業ではあるが、60代後半以上の多趣味な「昭和のお嬢さん」達が多い。

区の施設は、10名以上の登録で、半数以上が75歳の団体は無料で使用できるとあって、多種のグループが登録されている。22ある地区区民館は、浴室が供えられており、入浴が目的の利用者も多い。社交ダンスも、一回100円、月会費500円のフリーダンスサークルがあり、にぎわっている。

今年9月に「人生100年時代構想会議」が内閣でスタートした。我々活動元から、これからの活動を考える必要があると痛感している。

練馬区ダンススポーツ連盟
会長 石川 隆史



武蔵野市は地理的に東京都の真中、へそにあたる位置にあり分かり易い場所です。中央線が貫き、吉祥寺、三鷹、武蔵境の三駅を市内に擁し、立地的には申し分のない所です。住みたい街No.1の吉祥寺は憧れの街と聞きます。

しかし、競技ダンスに於いては、他の区市区町村にいつも遅れをとっています。それは、先代藤崎松代会長の、広くソーシャルダンスを広めることを目標とした活動を、愚直で融通の利かない二代目会長である私が守り続けて来たためだと反省しています。

ダンスを広めるという活動は、それなりに成果は上がっていると思います。平成元年から継続している初級教室、中級教室は来年で30年目になります。また傘下のサークルも、同様に30年前後続いているものが7つを数えます。

当連盟の標語「ダンスは明るく、楽しく、美しく」「合言葉は'継続'」ですが、継続を目標にし、実践しています。

ここに一つのデータがあります。前述した中級教室は、諸般の事情により、ひと頃は120名超の参加者が半分になって

います。でも、男性参加者約30名の内3分の1が80歳以上の方です。この方々は昨日今日始めたわけではなく、10年、20年と続けて来た人ばかりです。健康で長く続けられるダンスを実践してくれているのです。本当に嬉しく思います。

そんな訳で、これからも武蔵野市は地味な活動を続けて行く所存であります。

武蔵野市ダンススポーツ連盟
会長 島森 寿一



●写真左は月例ダンスの集い「スローフォックストロット講習会」小林泰三・朝倉なつみプロ(タマオキトモヒロダンススクール)とともに(5月14日(日)、武蔵野総合体育館)。右は市町村総合体育大会 団体戦選手(7月30日(日)、羽村市スポーツセンター)。

次回 95 号の「加盟団体のひろば」は墨田区・東京都DSC の担当です。

かがやいていますね

第70回春季大田区スポーツ大会
区長杯争奪戦 準優勝 今井 由香・和智 貴理子(大田区在サークル)

大田区大会は女子と女子の組で出場出来る貴重で有意義な大会です。パートナーが和智貴理子さん、リーダーが今井由香。皆さんの目にはどう映ったでしょうか?東京では珍しい女子・女子組に皆さんの応援の声はとても温かく優しく、私達はその声をパワーにして踊りました。リードしながらも、フォローしながらも、しっかり自分をアピールするという、集中して相手の動きを感じる、それが出来るこの競技会、お互いの役割が明確になり、とてもいい勉強になります。これからも機会がありましたら女子・女子組をチャレンジしていきたいと思ひます。ときには男性も女性のステップを、女性も男子のステップを踊ってみては如何ですか?いい発見があるかと思ひます。(今井)



第50回 東京都 市町村総合体育大会

＜ダンススポーツ競技＞団体戦

- 優勝 あきる野市
- 準優勝 小平市
- 第3位 立川市
- 第4位 八王子市
- 第5位 調布市
- 第6位 羽村市
- 第7位 昭島市
- 第8位 府中市



大会副会長
(羽村市ダンス
スポーツ連盟会長)
馬場 誠一

第50回東京都 市町村総合体育大会＜ダンススポーツ競技＞団体戦が、7月30日(日)羽村市(羽村市スポーツセンター)で、16市の出場を頂き開催されました。

今大会は、羽村市に於いて第46回大会に続く2回目の開催になりました。競技開始前に、各連盟は円陣を組み、闘いの声を上げ、必勝意識の高揚を図っていました。各選手は、持てる力を存分に発揮し、白熱した競技が展開され、熱戦を制したのは、あきる野市でした。

大会は、一次予選・リダンス・準決勝・決勝と、タイムテーブルに従いスムーズに進行し、所定時間内に全ての競技を終わる事が出来ました。今大会に際して、準備段階からご協力頂いた役員、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

昨年の市町村大会で準優勝し体協理事会でその栄誉が称えられてからダンススポーツが一躍注目されるようになりました。今年度、当市は市町村大会の当番市なので市から各団体良い結果をと期待される中での団体戦初優勝の快挙は連盟30年の歴史の中で初めての偉業に一躍ダンススポーツが注目されました。8月の総合スポーツ祭開会式の30団体500名以上集合した会場で体協会長の挨拶で栄誉を称えられダンススポーツに対する注目度が更に広がりました。この成果でダンススポーツに興味を持ち年間通して月曜夜に開設している初心者講習会を受講したい方が増えることを期待しています。有難うございました。
(あきる野市ダンススポーツ連盟 会長 福田 智行)



優勝 **あきる野市**



準優勝 **小平市**



3位 **立川市**



救護

ダンススポーツ/ソシアルダンスは持続的な有酸素運動であり、他のスポーツ(接触型格闘技や球技)に比して事故発生率が極めて低いことが特徴です。とはいえ、最近の猛暑での熱中症対策、転倒や接触でヒヤットすること、また選手・会員の高齢化に伴う救急医療事故が生じています。
競技会開催の際に、「救護担当者」(可能ならば医師、看護師、救急救命士等が望ましい)や救急備品を準備するとともに、緊急時を想定して競技長、救急要請や誘導をする係、用品搬入係の分担、会場での設備(AEDの設置場所)や事故発生時の連絡先を確認しておきましょう。
「運動中の水分、ミネラルの補給は勿論ですが、運動前の糖質で集中力アップ、運動後の糖質とタンパク質、ビタミン類は筋肉の修復、疲労回復に。それでも「何か変だな」と感じたら決して我慢・無理をしないで救護に声をかけてください。」(宮原教子/新宿区) 用心に怪我なし。



東京体育館で
山本智恵子/立川市

参照: JDSF 競技部 通達 http://www.jdsf.or.jp/images/contents_images/General/rule/urgent_handbook.pdf

JDSF 東京掲示板

平成29年

10/7 ㊦ ダンススポーツフェスティバル in 東京 2017

10/8 ㊦ 第37回 三笠宮杯全日本 DS 選手権
場 所: 東京体育館

11/5 ㊦ 2017DS 関東甲信越ブロック大会
場 所: 栃木県立県南体育館 (小山市)

11/12 ㊦ 第25回 都道府県対抗全国DS大会
場 所: 愛媛県 松山総合コミュニティセンター体育館

平成30年

1/20 ㊦ 1/21 ㊦ 平成29年度研修・親睦旅行
場 所: 大島

2/24 ㊦ 第10回ダンススポーツフェスティバル in 東京オープン
2/25 ㊦ 第20回東京オープン・DS 選手権
場 所: 東京体育館

メディア・クリップ

- 7月「社交ダンス日本一は高校生-見る者を圧倒する躍動感」日本経済新聞日曜版「The STYLE/Life」7月23日付に藤井・吉川組の写真とともに記事(稲葉なおと氏)が掲載された。
「ボールルームへようこそ 社交ダンス講座」
TVアニメ「ボールルームへようこそ」特別企画として、富士田多々良役: 土屋神葉さんと赤城賀寿役: 富田健太郎さんの2人が社交ダンスレッスンを受講。現在までに13回が公開。
<http://ballroom-official.jp/special/dance-lesson/>
- 9月「キラビト君発見!」フジテレビ「めざましテレビ」9月18日放映で平成28年度三笠宮杯ラテンチャンピオン藤井創太選手が紹介された。
- 10月「傑作選 社交ダンス キンタロー。ペア世界へ!」TBSテレビ「キンスマ」10月1日放映で社交ダンス企画が放送された。

新春の旅 — 研修・親睦旅行のご案内 —
平成30年 1月20日(土) - 21日(日) 大島。
宿泊に限りがありますが、申込はぜひお早めに!



発行 平成29年 10月1日
発行人 小林 克実 (理事長)
編集長 山下 りえ子 (広報部長)
企画 広報部

発行所 東京都ダンススポーツ連盟
住所 〒161-0031 東京都新宿区西落合1-28-14 榊原ビル1F
TEL 03 (6908) 3412 FAX 03 (6908) 3420
新HP <http://tokyo-jdsf.org> (春夏秋冬掲載中)